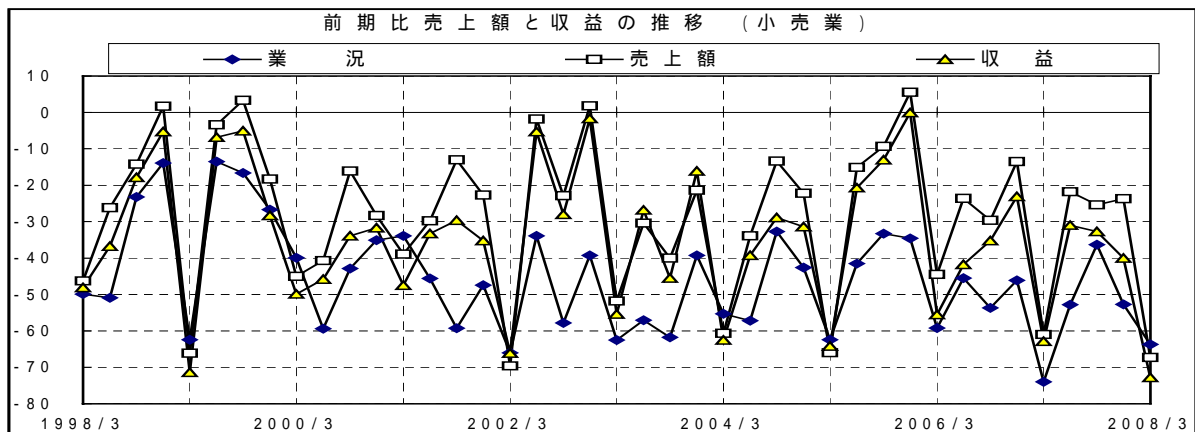


## 小売業 55 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

### 景況

DI 値 の推移	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期実績	4~6 月 期見通し
業況	-36.3	-52.7	-63.7	-43.7
売上額	-25.4	-23.7	-67.3	-31.0
収益	-32.7	-40.0	-72.8	-29.1

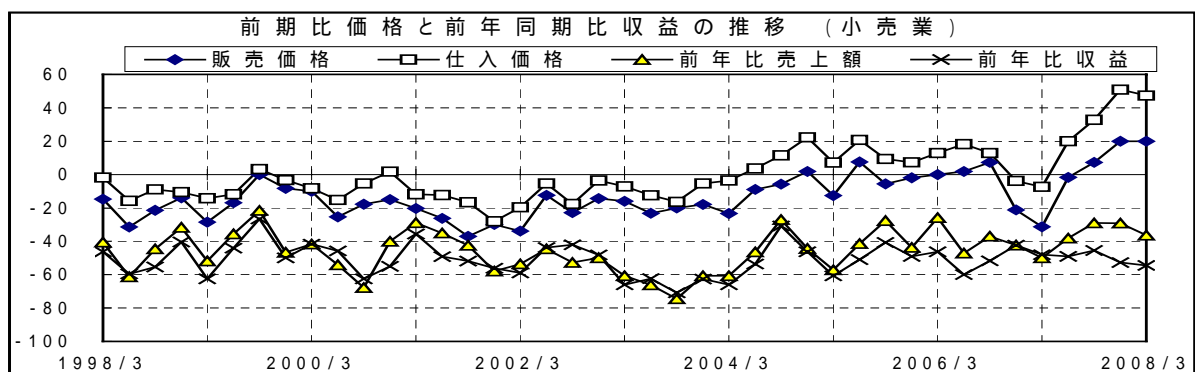
今期の業況判断 DI 値は 63.7 と、前期の 52.7 からマイナス幅が拡大し 11.0 ポイントの悪化となっています。地区別では浦河、えりも地区が改善し、それ以外の地区で悪化しています。売上額、収益判断 DI 値は、ともに前期比マイナス幅が拡大し大幅に悪化しています。



### 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期実績	4~6 月 期見通し
販売価格	7.3	20.0	20.0	36.4
仕入価格	32.8	50.9	47.3	47.4

販売価格判断 DI 値は 20.0 と、前期と変わらず、仕入価格判断 DI 値は 47.3 と、前期比プラス幅が縮小し価格上昇基調が弱まっています。業種別では、販売価格判断 DI 値は前期比食料品が上昇し衣料品、家電品で低下、仕入価格判断 DI 値は前期比食料品、衣料品、家電品がともに変動なく横ばいとなっています。



### 雇用面の動き

DI 値 の推移	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期実績	4~6 月 期見通し
残業時間	-5.4	-3.7	-7.3	1.9
人手状況	0.0	-3.6	7.3	5.4

残業時間判断 DI 値は 7.3 と、残業時間が減少した企業割合が増加した企業割合を上回り、前期比マイナス幅が拡大しています。人手過不足判断 DI 値では 7.3 と、前期比マイナスからプラス水準に転じ人手過剰感が強まっています。

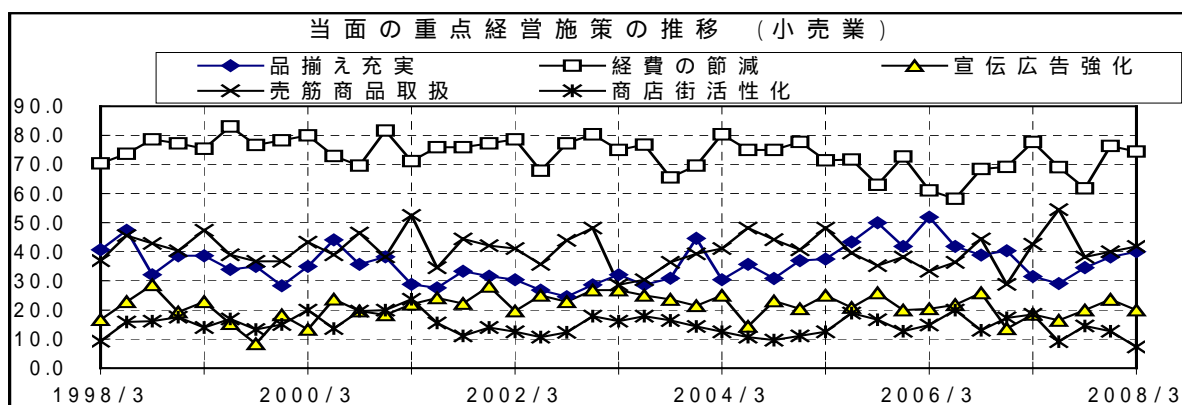
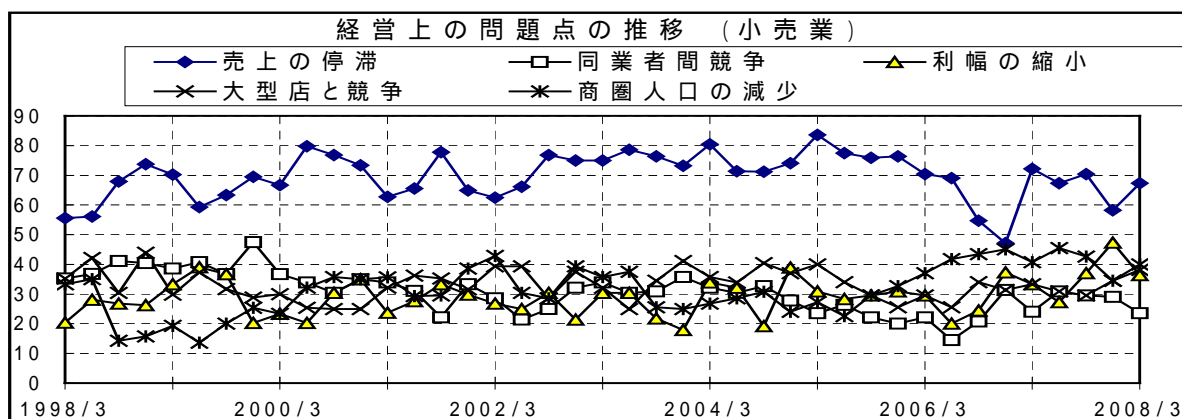
## 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すDI値は 5.4 と、前期 ( 16.4 ) からマイナス幅が縮小し不足感が弱まる一方、適正と回答した企業は 83.6% と、前期と同じ割合になっています。設備投資実施企業割合は 9.1% と、前期 ( 18.2% ) 比 9.1 ポイント低下し件数で前期の 10 社に対し 5 社の実施となっています。来期予定では当期比 1 社減の 4 社に留まっています。

## 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞」をトップに挙げ 67.3%、次いで「商圏人口の減少」40.0%、「大型店との競合」38.2%、「利幅の縮小」36.4%の順に続き、前期と比べ、「売上の停滞」、「商圏人口の減少」と回答する企業が多くなっています。業種別では、衣料品が「売上の停滞」、「商圏人口の減少」、食料品が「売上の停滞」、家電品が「大型店との競合」、「利幅の縮小」をトップに挙げています。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ 74.5%、次いで「売れ筋商品取扱」41.8%、「品揃えの充実」40.0%、「仕入先の開拓」23.6%の順に続いています。業種別では、衣料品が「品揃えの充実」、食料品、家電品が「経費の節減」をトップに挙げています。



## 来期の見通し

来期 ( 20 年 4 ~ 6 月期 ) の予想業況判断DI値は 43.7 と、今期 ( 63.7 ) 実績比 20.0 ポイントの改善見通しとなっています。予想売上額、予想収益判断DI値は、売上額 31.0 ( 今期 67.3 )、収益 29.1 ( 今期 72.8 ) と、ともに大幅な改善を見通し、予想販売、予想仕入価格判断DI値では、販売価格が 36.4 ( 今期 20.0 ) で上昇基調を強め、仕入価格は 47.4 ( 今期 47.3 ) と極僅かな上昇でほぼ横ばい基調の見通しとなっています。

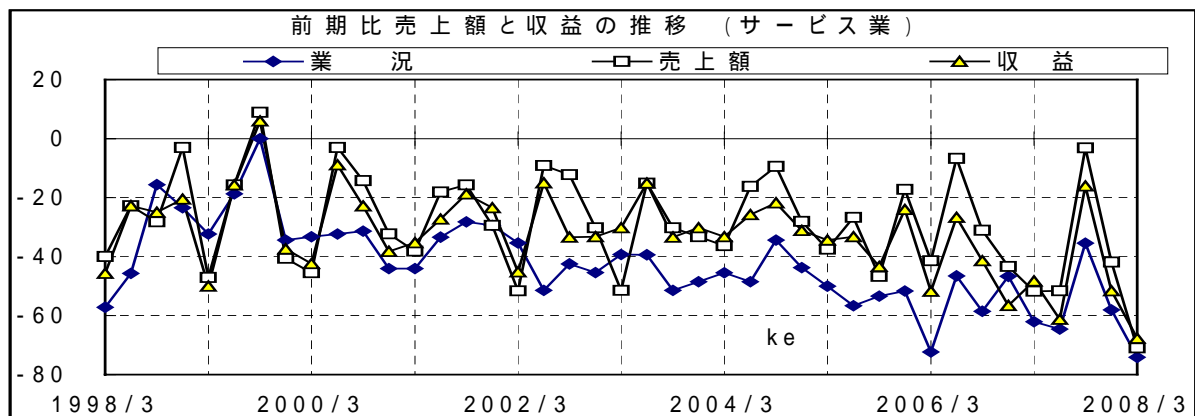
## サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### 概 況

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期見通し
業 況	-35.5	-58.1	-74.2	-61.3
売上額	-3.2	-41.9	-71.0	-29.1
収 益	-16.1	-51.6	-67.8	-19.5

今期の業況判断DI値は 74.2 と、前期の 58.1 からマイナス幅が拡大し 16.1 ポイントの悪化となっています。地区別では三石、えりも地区が改善し、それ以外の地区で悪化しています。売上額、収益判断DI値は、と

ともに前期比マイナス幅が拡大し悪化しています。

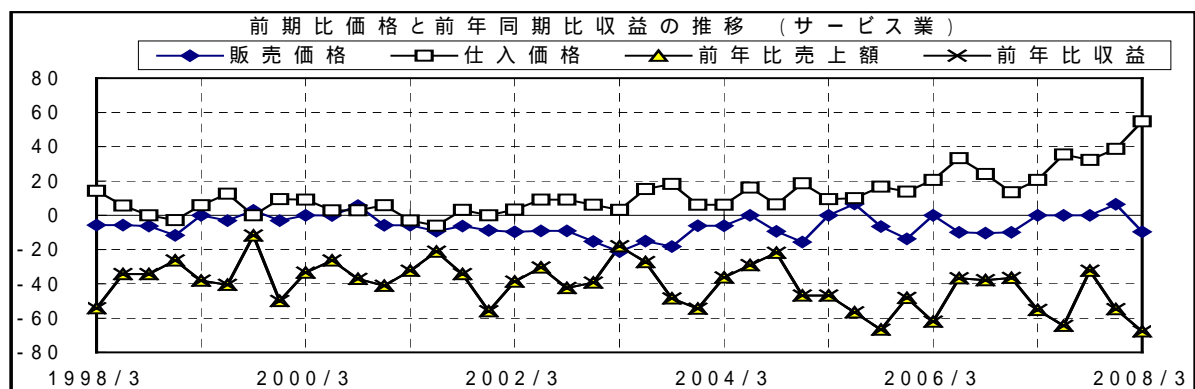


### 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期見通し
料金価格	0.0	6.4	-9.7	-6.5
材料価格	32.3	38.7	54.8	38.7

料金価格判断DI値は 9.7 と、前期比プラスからマイナス水準に転じ価格低下基調を強め、材料価格判断DI値は 54.8 と、前期比プラス幅が拡大し価格上昇基調が強まっています。業種別では、料金価格判断DI値は前期比旅館業が

変動なくそれ以外で低下、材料価格判断DI値は前期比旅館業ほか 2 業種がともに上昇しています。



### 雇用面の動き

DI 値 の推移	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期見通し
残業時間	-9.7	-19.4	-32.3	-19.4
人手状況	-6.4	6.5	22.6	9.6

残業時間判断DI値は 32.3 と、残業時間が減少した企業割合が増加した企業割合を上回り前期比マイナス幅が拡大しています。人手過不足判断DI値では 22.6 と、前期比プラス幅が拡大し人手過剰感が強まっています。

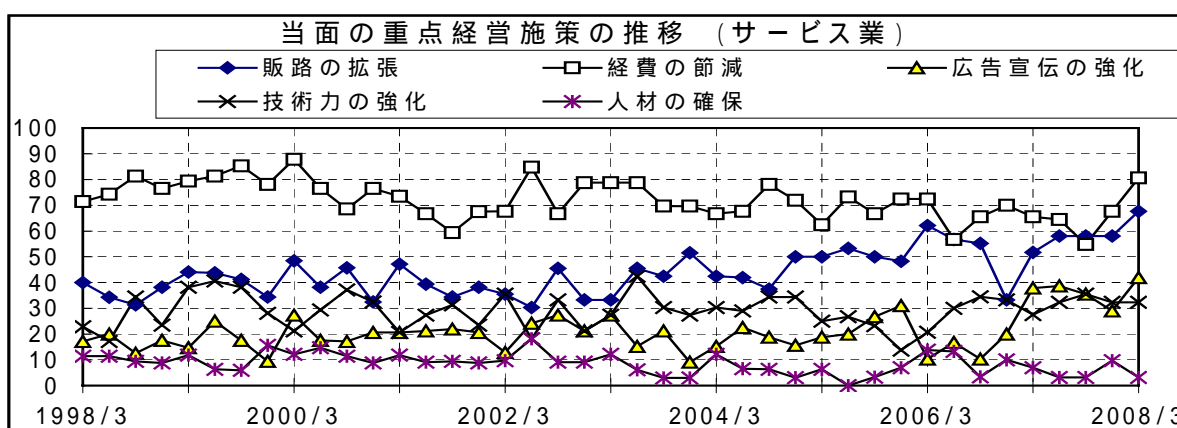
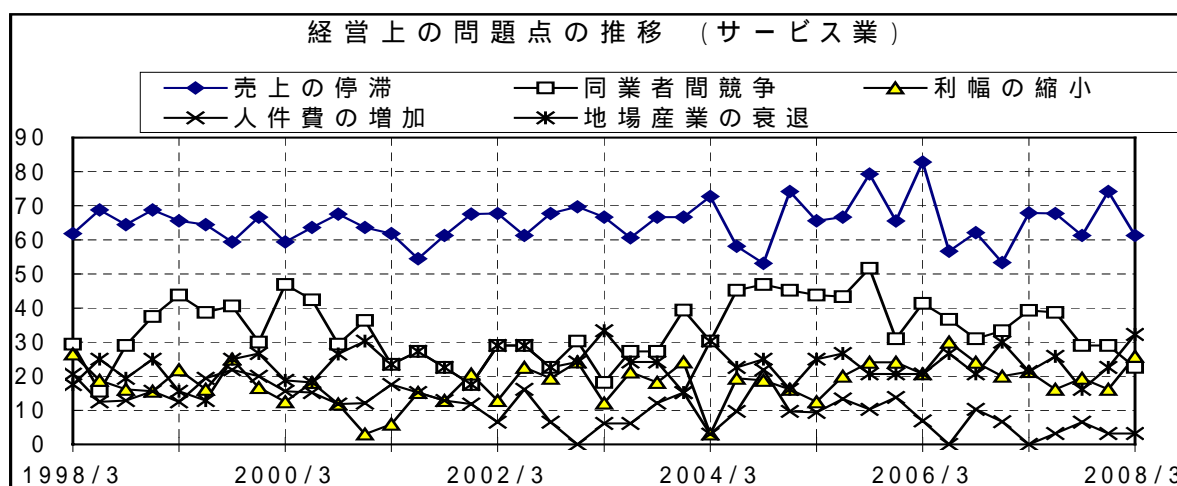
## 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すDI値は 9.7 と、前期 ( 9.7 ) と変わらず、一方、適正と回答した企業は 64.5%と、前期 ( 58.1% ) から 6.4 ポイント上昇しています。設備投資実施企業割合は 6.5%と、前期 ( 9.7% ) 比 3.2 ポイント低下し件数で前期の 3 社に対し 2 社の実施となっています。来期予定では当期比 1 社減の 1 社に留まっています。

## 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞」をトップに挙げ 61.3%、次いで「材料価格の上昇」41.9%、「商圈人口の減少」38.7%、「地場産業の衰退」32.3%の順に続き、前期と比べ「材料価格の上昇」、「地場産業の衰退」と回答する企業が多くなっています。業種別では、旅館業が「材料価格の上昇」、自動車整備業が「売上の停滞」、洗濯・理美容業が「商圈人口の減少」をトップに挙げています。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ 80.6%、次いで「販路を広げる」67.7%、「宣伝広告の強化」41.9%、「技術力を強化する」32.3%の順に続いています。業種別では、旅館業、自動車整備業、洗濯・理美容業がともに「経費の節減」をトップに挙げています。



## 来期の見通し

来期 ( 20 年 4 ~ 6 月期 ) の予想業況判断DI値は 61.3 と、今期 ( 74.2 ) 実績比 12.9 ポイントの改善見通しとなっています。予想売上額、予想収益判断DI値は、売上額 29.1 ( 今期 71.0 )、収益 19.5 ( 今期 67.8 ) と、ともに大幅な改善を見通し、予想料金、予想材料価格判断DI値では、料金価格が 6.5 ( 今期 9.7 ) で低下基調を弱め、材料価格は 38.7 ( 今期 54.8 ) で上昇基調が弱まる見通しとなっています。